



伴良松さん
(甲賀町油田)

▲窯焚き中の伴さん

甲子園監督から陶芸の道へ

伴良松さんは、元高校教諭として県内の各学校で教壇に立たれ、また、高校硬式野球部の監督として活躍、昭和42年には、当時在職されていた守山高校で甲子園に出場の経験もお持ちです。

伴さんと陶芸との出会いは、定年退職後に勤務されたレイカディア大学事務局職員の時、「職員として同大学の陶芸学科の担当をしているうちにいつの間にか陶芸の魅力にのめり込んでしまった」とのこと。職員から同大学の学生に転身、同大学で2年間陶芸を学び、その後、サークルでの活動を経て、独立、現在は一人で陶芸を続けられています。

「中途半端はあかん。やるからには徹底してやらないとあかん」と言い切る伴さん。自らが使う陶土も県内あちらこちらの山を



▲出来上がった作品を手にする伴さん

歩き、土堀りから粘土の調合までも自分でやるという徹底ぶりです。「陶芸は趣味です」と話される伴さんですが、陶芸に取り組む姿は作家そのもの。

伴さんは、1年間かけて作った作品約120個を年に一度、信楽の穴窯に運び6日間かけて焼き上げられるそうです。今年も3月16日から21日までの6日間窯焚きをされ、27日に作品の窯出しをされました。

何百束の松割り木を入れ続ける窯焚き、熱さとの戦いには相当の体力が求められます。「作品を窯から出すときの興奮を味わい続けたい。気力は持っているけど、体力がいつまで続くかが心配。」と話される伴さん。これからは、教え子たちが手伝ってくれるのも楽しみと、元教師ならではのひと言も。「広報見たら手伝いにきてや」との伝言もお預かりしました。

体力が続く限り頑張ってもらいたいものです。

クラシックカー、春の甲賀を駆け抜ける

～ラ フェスタ プリマベラ～

クラシックカーの祭典「ラフェスタプリマベラ」が4月19日から22日に近畿一円で開催され、19日には、市内を往年の名車が駆け抜けました。

同イベントは、1927年から1957年にイタリヤで開催されていた都市間ロードレースを再現したもので、1920年代から70年代の貴重な車約70台が勢揃い。市内2か所に設けられたチェックポイントには、名車を見ようとカメラを持った人が多く訪れ、盛んにシャッターが切られました。



▲新緑の中を走るクラシックカー

心意気乗せ、勇ましく巡行

～水口曳山祭～

4月19日、20日、水口曳山祭が行われ、街中に囃子が鳴り響き、勇壮に曳山が巡行しました。

宵宮では、夕暮れに各町の曳山の提灯が灯り、囃子が奏でられ、町が幻想的な雰囲気になりました。また、今年水口神社近くで花火も打ち上げられ、お祭ムードを一層盛り上げました。20日の例大祭には、テンポの良い囃子が響く中、各町趣向を凝らした「ダシ」を乗せ6基の曳山が勇ましく練り歩きました。

町衆の心意気を今に伝える水口曳山祭、今年も勇壮、華麗な伝統文化に大勢の見物人が酔いしれました。



▲曳山が集まる水口神社境内

さくらの里賑わう

～咲くや鮎河さくらまつり～

土山町鮎河地域一帯が満開のさくらで包まれる春先、今年も咲くや鮎河さくらまつりが4月11日、12日に開催されました。

この日は、早くも初夏を思わせる絶好のお花見日和。新名神が開通したこともあり、今年例年をはるかに上回る人出で他府県ナンバーの車も目立つ中、うぐい川沿いに多くの人がシートを広げ満開のさくらを楽しみました。

また、会場には、地元産のそばや餅をはじめとするいろんなお店も並び、たくさんの方が春を満喫しました。



▲多くの花見客が訪れたうぐい川

信楽焼の器で地酒を

～ほろ酔いうつわと地酒展～

甲賀市をはじめとする県内には、きれいな水と良質の米からできる地酒が多くあり、県外のファンも多くいます。これらの地酒とそれにあわせる信楽焼の器を集めた「ほろ酔いうつわと地酒展」が陶芸の森信楽産業展示館で5月10日まで開催されています。

この催しは、信楽焼振興協議会と県酒造組合の協力で実現、県内の49種類の地酒と281種類の信楽焼の器が展示されています。会場には、お酒の口当たりや、見た目を考えて作られたさまざまな色、形の器が並び、



▲県内の地酒と趣向を凝らした器が並ぶ会場

お酒好きの方はもちろん、それ以外の方でも楽しめる展示となりました。

双子の忍者らが交通安全呼びかける

～春の交通安全運動～

4月6日から15日まで、全国展開された春の交通安全運動。甲賀地域でも甲賀湖南交通安全協会によるオープンイベントが湖南市地先で行われ、忍者にふんじたパトロール隊員らが道行くドライバーに交通安全を呼びかけました。



▲安全運転を願う啓発グッズ



▶ドライバーに啓発用品を手渡す
辻さん姉妹

特に今年は、甲賀町の大原小学校4年生の辻彩花さんと萌花さんの双子の姉妹が忍者姿で特別参加、啓発用品を手渡ししながら、「安全運転をお願いします」と啓発に一役かってくれました。